

本日ハ陸海軍大臣ハ一言モ發言セス海軍側ハ軍令部總長相當強ク  
説明シタルモ、海相ハ平素比較的多ク發言スルニ反シ本日ハ一言  
モ發言セス

五月十六日第三十一回連絡懇談會

南方施策促進ニ關スル件

一、要旨

外相ヨリ

佛印ニ進駐シタル場合ニ起リ得ヘキ帝國ノ不利最惡ノ場合ニ就キ、  
再考セラレ度。大島ニ獨個カラ「ヴシー」ヲ指導スル様要望シタ  
ル所、大島ヨリ「ヴシー」ガ進駐不同意ト云ウタ場合ニ帝國ノ態  
度承リ度ト反撃シ來レリ。連絡會議ニ於テ種々話アリシモ、昨日  
一日朝三時迄考ヘタルモ、進駐ハ國際上不信ヲ免レヌト思フ、從  
來國際信義ナシト云ハルル帝國トシテハ此ノ點考ヘナケレバナラ  
スト思フ。獨「ソ」情勢ノ緊迫セル今日、此ノ如キ進駐ハ如何カ

ト再考スル必要アリ。此ノ進駐ガ不信ニアラズト外相トシテ説明  
出來ル迄再考致シ度ク、又各位ニオカレテモ考ヘ置カレ度  
ト發言アリ。何等決定ニ至ラズ散會ス、細部ニ關シテハ次ノ如キ  
問答アリ

### 二細部ノ問答要旨

外相 進駐トナレバ昨年八月三十一日ノ松岡「アンリ」協定  
ハ破棄トナリ、從ツテ北佛ノ駐兵モ無効トナル。軍事上  
ノ基地ヲ造ルコトハトモカク、進駐ト云フコトニナレバ  
獨ガ手ヲ入レテ吳レナイ限り佛モ自己ノ領土ニ兵ヲ入レ  
ルコトニ應諾セサルベシ。佛獨カラ云ヘバ軍事占領トナ  
ルヲ以テ、九五%迄ハ承知セント思フ。又之ニ依リ先日

調印セル調停條約及經濟協定等ノ取極モ廢棄トナリ、其  
影響ハ蘭印泰ニモ及ビ、蘭印ハ勿論泰カラモ豫期シアル  
「ゴム」二萬屯錫三千屯米等モ來ナクナルダラウ。以上  
ハ最悪ノ場合ニシテ、當ニ之カ全部トハ思ハヌガ、此ノ  
如キ場合モ考慮セネバナラス。大島ノ電報ニ依レバ獨ア  
ハ來週開戦スルト云ムヲ居リ、此ノ如キ場合ハ世界大戰  
争トナリ、「ソ」英ハ同盟シ、米ハ英國ニ立チテ參戰ス  
ヘシ、此ノ様ナ情勢モ充分考慮セネハナラスト思フ。  
特ニ進駐ハ帝國トシテ一大不信行爲ヲヤルコトニナル、  
國家ノ生存上已ムヲ得スト云ヘバ云ヘルカモ知レヌガ、  
何レニシテモ一大不信行爲ト云ハナケレバナラス。

海相

參謀總長

今迄ノ佛印、泰ニ對スル帝國ノ考ヘハ

變ラス、進駐スルコトニ依リ英米ノ壓迫カラ佛印ヲ防グ

ノダト云フコトヲ諒解セシメレバ應諾スルニアラズヤ

外相

然リ、然レドモ「ヴシー」ガ進駐ニ應ゼザル場合、之ヲ

押切ツテ進駐スルコトハ不信ナリ。此ノ前ノ條約批准モ

スマヌ、武力ヲ行使スルモ進駐スルコトハ不信ナリ。日

本ハ國際的ニ不信義ト云ハレテ居ル、外務大臣一人ニテ

モ此ノ信義ヲ通シ度。無理ニ進駐スルコトガ進駐ト云ハ

ズシテスムヤ。

外務大臣トシテ卒直ニ云ヘバ、陸下ニ之レハ不信ナリ

ト申シ上げザルヲ得ズ。

參謀總長

進駐ノ準備ハ幾何カカルヤ、軍事基地ハ幾何ノ日數ヲ要スルヤ、軍事基地ハ何時迄ニ出來レバヨイカ。

準備ハ約二十日間、飛行場ハ二乃至三月、現在飛行場アルモ商業用ニシテ重爆撃機ノ爲ニハ鋪裝スルヲ要ス、又

大編隊ノ爲ニハ擴張スルヲ要ス。進駐ヲ七月中ニ終リ八

九、十月ヲ飛行場ノ整備ニ充當スルヲ要ス。進駐ノ爲ニ

ハ支部ヨリ兵力ヲ轉用シ、又船舶ヲ集メル必要アリ。彼

ノ地ハヤガテ雨期ニ入ル故成ルヘク早クスルヲ要ス。

外相

獨「ソ」開戦モアリ、之ヲ検討スル要ナキヤ

參謀總長

獨「ソ」開戦ニ方リテモ此ノ程度ノ施策ハ必要ナリ

海相

英「ソ」ノ同盟ハ初耳ナリ、此ノ事ガアルト云フナラバ

考ヘテモ好イ。而シ先日決ツタモノヲ變更スルノハ悪イ  
デハナイカ

外相

俺ハ頭ガ悪ク其後考ヘテ見タラ……

某

腹ガ變ラヌカ

外相

腹ハ變ラヌ

陸相

本年中ニキマリフツケネバ大東亞共榮圈ノ看板ヲハズサ  
ネバナラヌ、準備ガ出来タラ決意ヲ要スル

外相

準備ハ上奏ノ必要アリヤ

參謀總長

目標ナクシテ準備スルコトハ出来ヌ

尤モ教育訓練等ハ出来ルガ、兵力ノ移駐動員編制等ハ  
御尤裁ヲ仰ガナケレバ或程度シカ出来ヌ

陸相

右ノ趣旨ヲ更ニ強調ス

軍令部總長

準備ヲヤツテオイテ、武力ヲ行使スルトキニ御許シヲ  
得テハドウカ

外相

陸軍ハソウウハ行カヌ、第一次上海事變ノ時モ植田師團長  
ハ上海到着後四、五日待ツタ、陸軍ガ相當ノ時日ヲ要ス  
ルコトハ分ル

陸相

右ニ關シ更ニ附加ス

參謀總長

海南島ニ陸兵ノ集合ガ完了スルト共ニ電撃外交ヲヤル様  
ニシタイガ、此ノ點カラモ軍令部總長ノ云ハレタ様ニヤ  
ルワケニハイカヌ

外相

何レニシテモ二、三日考ヘサシテ呉レ、不信ニアラズト

云ウテモ自分ハ不信ト思フ。此點 陛下ニ上奏セザルヲ  
得ス。此ノ點判然セザレバ上奏出來ス。

昨年「シンガポール」ヲヤレト云フタノニヤラナカツタ  
カラコンナ事ニナツタ

上奏ハ何時スルヤ、上奏ノヤリ方ニモ考ヘラレ度  
以上ノ如クシテ結局二、三日再考スルコトトシ解散セリ

六月二十五日第三十二回連絡懇談會

「南方進軍促進ニ關スル件」並「情勢ノ推移ニ伴フ國策要綱」ニ關スル件

一、出席者 兩統帥 部次長 特ニ出席ス

ニ先ツ南方進軍促進ニ關スル件ニ就キ參謀總長説明ヲナシ之ヲ可決ス  
依ツテ午後三時臨時開議ヲ開キ、別ニ準備セルモノ（武力關係ヲ  
除ク）ヲ整理ヨリ朗讀シ關係ノ質問ヲ受ケテ開議決定トナシ、午  
後四時ヨリ總理兩總長列立上奏スルコトニ決ス

三、前項會議ノ概要

外相 御説明案ハ結構ダガ之レニヨルト今迄何モヤツテ居ラス  
機ニ思ハレル書方ダガ今迄モヤツテ居ル機ニ申シ上ゲテ  
矣レ。軍事基地港灣等ノ事ハ既に交渉ヲヤツテ居ル。獨